

「開拓記念碑」

広島県呉市・野呂山開拓

広島県の南部、呉市に位置する野呂山(のろさん)は標高 839 ㍎の膳棚山から東の弘法寺山までの高原の総称で、瀬戸内海国立公園の区域に指定されている。国民宿舎やキャンプ場、展望台などの施設がある。展望台からは瀬戸内海を眺望することができる。豊田郡安浦町(現・呉市安浦町)の野呂山開拓地には、終戦後の 46(昭和 21)年から海外引揚者らが入植し、開墾が行われた。

同県の戦前・戦中の産業構造は軍需産業への依存度が高かったため、戦時経済の破滅により地域経済は重大な危機を迎えた。多くの戦災者、離職者、復員軍人らが農山村における就業機会を求めて、開拓者として入植した 59 年までの開拓地は 197 地区を数えた。

野呂山開拓の歴史は、江戸時代に遡る。江戸時代後期及び明治初頭に開拓が実施されたが、いずれも長続きしなかった。終戦後に入植した開拓団は、満州(現・中国東北部)からの引揚者ら 71 戸 294 名。手作りの丸太小屋でのランプ生活だった。気温が低く、特に冬の寒さは厳しかった。原野の伐採作業から始めた開拓は重労働だった。34 年に瀬戸内海国立公園に指定され、開拓予定地は縮小された。

入植者は様々な作物の栽培を試みた。やがて、ダイコンが特産品として高値で取り引きされるようになった。しかし、野呂山の観光開発が進むにつれて、離農者が増えていった。

山頂付近に開拓記念碑が立っている。県下最後の開拓組織となった広島県開拓農協が 85 年 10 月に建立したもので、碑銘は「開拓記念碑」。裏面の碑文には、「この碑は昭和二十年八月 大東亜戦争の終結に当たり 県内各地において二千七百戸の開拓者が五千四百町歩の荒地を開墾して 戦後の食糧不足に貢献した業績を後世に伝える為に建立したものである」と刻まれている。



野呂山 開拓記念碑

- ①所 在 広島県呉市安浦町
- ②設置年月日 昭和60年10月10日
- ③設置者 広島県開拓農業協同組合
- ④碑名 開拓碑
- ⑤碑文(表面) 開拓記念碑
- ⑥碑文(裏面) この碑は昭和二十年八月 大東亜戦争の終結にあたり 県内各地において 二千七百戸の開拓者が 五千四百町歩の荒地を開墾して 戦後の食糧不足に貢献した業績を後世に伝える為に建立したものである。
昭和六十年十月十日 広島県開拓農業協同組合建之
- ⑦現在の状況 標高839米の野呂山の頂上付近の道路脇にあり、管理されている。

